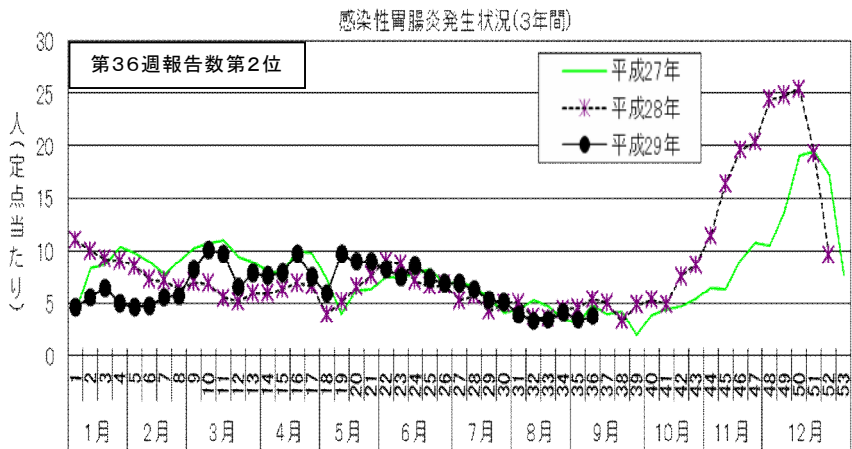
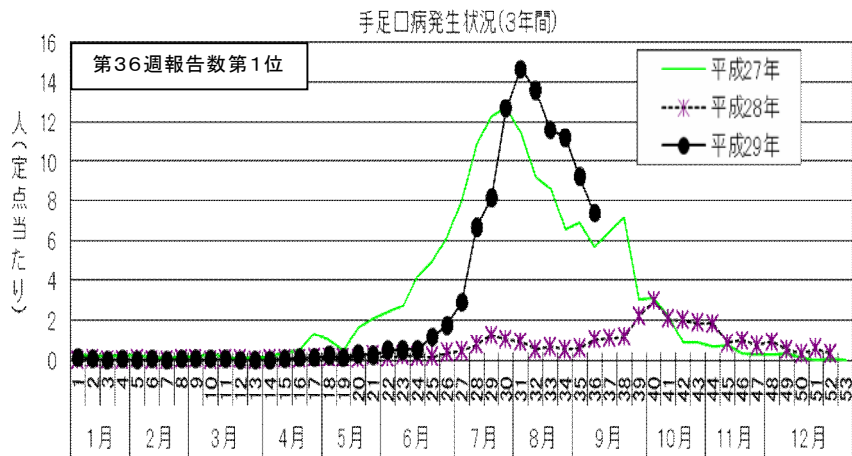


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年9月4日（月）～平成29年9月10日（日）〔平成29年第36週〕の感染症発生状況

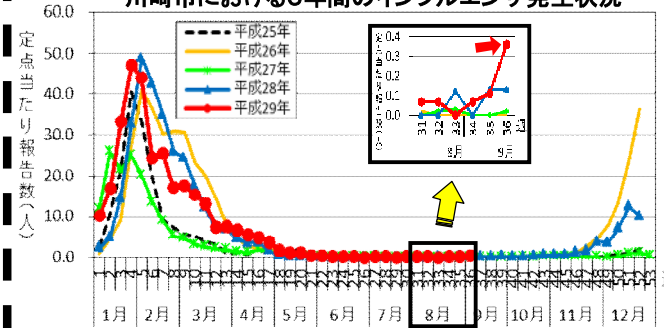
第36週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は7.35人と前週（9.22人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（3.43人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.16人と前週（2.65人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



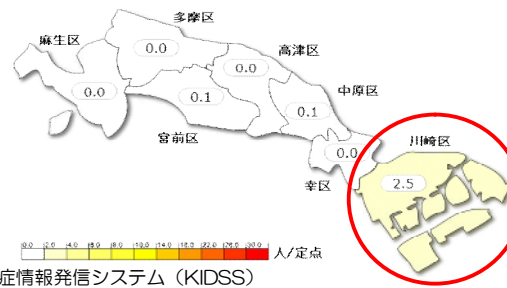
インフルエンザの流行期が始まる前に！

平成29年9月11日、川崎区内の小学校において、今シーズン初めてインフルエンザによる学年閉鎖の報告がありました。今年は8月にも保育園等で集団感染事例が発生しており、夏季にもかかわらず例年と比べて報告数が多くなっています。今のところ流行期ではありませんが、予防対策を行うことは重要です。

川崎市における5年間のインフルエンザ発生状況



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ(第36週)



インフルエンザにかからないために！

- 流行前に
 - ✓ワクチン接種
- インフルエンザが流行したら
 - ✓咳エチケット
 - ✓外出後の手洗い等
 - ✓適度な湿度の保持
 - ✓十分な休養とバランスのとれた食事
 - ✓人混みや繁華街への外出を控える

～咳エチケットとは？～

- ・咳やくしゃみの症状がある方は、マスクを着用する。
- ・咳やくしゃみの際は、口と鼻をティッシュで覆う。
- ・鼻汁や痰を含んだティッシュはすぐに捨てる。

川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター
 (問い合わせ先) 044-276-8250